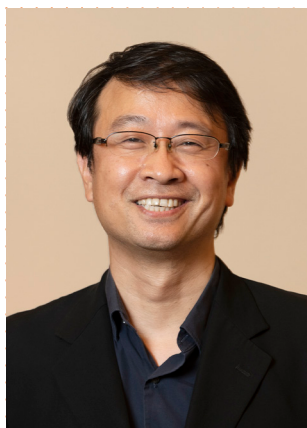


Association for Planning and Transportation Studies

計画・交通研究会

ご挨拶



一般社団法人「計画・交通研究会」は1974年に八十島義之助先生を初代会長に設立され、国土やインフラに関わる個人や企業・団体の集合体として、約50年間をかけて、幅広い活動と豊かな交流の場が積み重ねられてきました。

その活動においては、講演・シンポジウム・視察といった初期の活動を基本としつつ、イブニングセミナー・現地視察・若手勉強会・海外留学生サマーセミナー・小研究会などへと発展的な活動が近年展開されています。国土の歴史に関心を寄せながら、都市と地方をめぐるインフラの多様なプロジェクトに目を向け、分野を超えた議論を手繰り寄せるような活動が、多様な分野の会員に好評を得ています。

八十島初代会長は、終戦直後、日本の再建について長期的な展望を求められる中、交通手段が手薄となった江東地区に地下鉄をいれることで、東京の一点集中をうすめ臨海部の都市開発と一体となった答申を構想しています。以降、国内外のさまざまなインフラプロジェクトを通じて、国土の未来像を考え、その輪を当会会員の皆様と一緒に大きく広げてきました。

現在、国土の計画と交通をめぐる環境は、激変しています。東日本大震災による急激な人口減少と福島の問題、COVID-19による分断と格差、リモート社会の進展は、国土の未来像に大きな変化を求めています。また気候変動に伴うカーボンニュートラルや流域治水の考えは、今後の国土管理に大きな更新をもたらそうとしています。また、世界各国の政策も、インフラ戦略は国際化し、地球規模の社会基盤戦略の到来を予見させます。

現代日本において、計画と交通を考えることは新たな社会のあり方を考えることに他なりません。当会は、これからの国土と都市のあり方を考え、議論する場として展開していきたいと考えています。

第6代会長

羽藤 英二
東京大学教授

1992年広島大学工学研究科修了、日産自動車総合研究所研究員、1998年愛媛大学助手
2003年愛媛大学助教授、2006年東京大学准教授、Nepal工科大学 Visiting Professor 兼任
2012年より現職

専門は交通・都市・国土学。経済財政諮問会議専門委員、岩手県津波復興技術検討会議委員、国土交通省交通政策審議会委員、等を歴任。長崎駅基本設計、道後温泉飛鳥乃湯泉基本設計、池袋アートカルチャー構想、鄭州新都市設計などを手掛ける。世界交通学会 Bursary Prize、土木学会論文賞、グッドデザイン賞などを受賞。2021年4月22日より当会第6代会長。

沿革

- 1974年 故八十島義之助東大教授により、法人会員と個人会員からなる任意団体、計画・交通研究懇談会として設立
- 1978年 計画・交通研究会に改称
- 2009年 一般社団法人化
- 2012年 事務所を麹町から現在の霞が関ビル内に移転

歴代会長

初代 故 八十島義之助

(1978年1月19日～1998年5月9日)
元帝京技術科学大学学長・
元東京大学名誉教授



第2代 中村英夫

(1998年7月7日～2004年5月26日)
建設コンサルタント協会顧問・
東京都市大学名誉総長



第3代 黒川 洸

(2004年5月26日～2008年4月22日)
一般財団法人計量計画研究所 会長



第4代 森地 茂

(2008年4月22日～2013年5月15日)
政策研究大学院大学 客員教授、名誉教授



第5代 家田 仁

(2013年5月15日～2021年4月22日)
政策研究大学院大学特別教授・
東京大学名誉教授・第108代土木学会長



活動内容

会員を対象に次のような活動を行っています。

1. イブニングセミナー

幅広いテーマをとりあげたセミナーを年に5回程度、開催しています。現地視察会と連動したセミナーもあり、多角的な理解に努めています。また集会形式が困難な場合は、オンライン型式で開催し、開催後は一定期間、会員向けにYouTube配信をしています。

<最近の主なテーマ>

- 中央リニア新幹線～新たな国土軸の形成が沿線にもたらすインパクト～
- グリーンイノベーションのファイナンスデザイン
- データ整備と防災の観点からみた熱海土石流災害
- 自転車は都市を救うか？—まちの厄介者からスマートな通勤手段へ
- 宇宙はいったい誰のもの？—宇宙時代に向けた新たな社会システム
- 江戸の土木—浮世絵から読み解く、100万都市・江戸の成り立ち—
- 国土と交通の未来像を考える
～リモート・ディスタンシング・レジリエンス社会の新たな潮流～
- 海プラの海に浮かぶ日本の現実
- 交通インフラを長く健全に保つために
～首都高速道路の大規模更新プロジェクト～
- インドで鉄道を作る
- ハッ場ダムの歴史
- 公共交通のコンセプションと空港経営～関西エアポートの挑戦



イブニングセミナー



オンラインセミナー (ZOOM ウェビナー)

2. 現地視察会

会員を対象とした社会基盤整備や都市開発に関する現場見学会を、年2回開催しています。

＜最近の主なテーマ＞

- 復興道路で迎える東北震災復興とまちづくり
- 福島リモートスタディツアー（中間貯蔵施設、福島第一原子力発電所）
- インド鉄道プロジェクト視察会
- 高輪ゲートウェイ駅と虎ノ門エリア
- 富山を彫り込む！（富岩環水エリア、宇奈月ダムなど）
- 巨大地下空間を体験する（東京外環自動車道）
- ハッ場ダムと小布施の町並み修景・善光寺口再整備
- Fast & Slow 名古屋から未来の交通を考える（ニューブリッジ、トヨタ自動車など）
- 産業・市民生活を支えるエネルギーの現在・過去・未来をみる（九州地区：バイオマス、地熱発電など）
- 熊野地方における災害と歴史から学ぶ



ハッ場ダムの見学



東名JCTシールド工事の見学

3. 産学共働若手勉強会

次世代を担う土木・交通分野における若手の研究者と実務者の交流促進を目的に活動しています。また、インフラ施設や都市開発プロジェクトの現場を見学する機会も随時設けています。

4. 小研究会

「海外インフラプロジェクトの発注者視点」「流域治水」「バスタ」「地域問題」をテーマに研究を行っています。

5. 産学共働留学生サマーセミナー

我が国が世界に誇りうる、新幹線、高速道路、都市鉄道、都市開発等のインフラ分野について、座学と現場見学を通じて、日本で学ぶ留学生に知ってもらうセミナーを実施しています。

6. 海外インフラ展開人材養成プログラム

インフラの海外展開における国際契約やマネジメントなどについて学び、また、様々な分野にスコープを拡張して世界と日本をとらえる講義などを通して、国際的なプログラムで活躍できる人材を養成します。[開催主体：政策研究大学院大学]

7. ユニークラボ探訪

独自の研究や取り組みを独創的な実験装置や施設、フィールドで実践されている研究者を訪ねて会員がそれを体験し実感する行事です。

8. 会報の発行・HPの運営

会員に向けて、隔月で会報を発行しています（発行翌月にはHPにも掲載）。また、HPでは特別記事や動画、活動内容などを掲載しています。



インド鉄道プロジェクト視察会



産学共働留学生サマーセミナー



海外インフラ展開人材養成プログラム



会報(年6回)

会員構成

法人正会員(16社)

会社名
(株) 大林組
小田急電鉄(株)
鹿島建設(株)
管清工業(株)
京王電鉄(株)
清水建設(株)
大成建設(株)
鉄建建設(株)
東急電鉄(株)
東京地下鉄(株)
東武鉄道(株)
日本工営(株)
東日本旅客鉄道(株)
みずほリサーチ&テクノロジーズ(株)
三井不動産(株)
三菱地所(株)

法人賛助会員(50社)

会社名
(株) 安藤・間
いであ(株)
(一財) 運輸総合研究所
(株) エスシー・マシーナリ
(株) オオバ
(株) 奥村組
(株) オリエンタルコンサルタンツ
関西エアポート(株)
(株) 熊谷組
京浜急行電鉄(株)
(一財) 計量計画研究所
(株) 建設技術研究所
国際興業(株)
五洋建設(株)
(株) サーベイリサーチセンター
JR東日本コンサルタンツ(株)
社会システム(株)
首都高速道路(株)
新関西国際空港(株)
大成エンジニアリング(株)
大日本コンサルタント(株)
(株) 地圏環境テクノロジー
(株) 中央建設コンサルタント
東海旅客鉄道(株)
東急建設(株)
(株) 東急設計コンサルタント
東急バス(株)
(株) 東京設計コンサルタント
(株) ドーコン
東電タウンプランニング(株) 地域開発カンパニー
中日本高速道路(株)
成田国際空港(株)
西松建設(株)
日本貨物鉄道(株)
日本コンサルタンツ(株)
(一社) 日本鉄道施設協会
(一社) 日本プロジェクト産業協議会
(株) ネクスコ東日本エンジニアリング
パシフィックコンサルタンツ(株)
東日本高速道路(株)
(株) 福山コンサルタント
(株) 復建エンジニアリング
三井共同建設コンサルタント(株)
三井不動産エンジニアリング(株)
(株) 三菱総合研究所
みらい建設工業(株)
(一社) 未来のまち・交通・鉄道を構想するプラットフォーム
メトロ開発(株)
森ビル(株)
(株) ライテック

2022年7月現在

個人会員(134人)

大学関係者、官公庁、コンサルタント、研究機関など

フェロー会員	6名	個人会員	111名
個人賛助会員	2名	(遠隔地個人会員を含む)	
若手研究者会員	15名		

役員構成

代表理事・会長・企画委員長	羽藤 英二
理事・会長代理・経営委員長	岩倉 成志
理事・広報委員長	茶木 環
理事・幹事長	金子雄一郎
理事・事務局長	白木原隆雄
理事	寺部慎太郎
理事	徳山日出男
監事	福田 敦
監事	上西 泰輔

会費

個人会員

個人正会員(フェロー会員含む): 年額10,000円以上

若手研究者: 年額3,000円以上

個人賛助会員: 年額5,000円以上

法人会員

法人正会員: 4口以上(1口年額15万円)

法人賛助会員: 1口以上(1口年額15万円)

連絡先

〒100-6005
東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル5F-28
TEL: 03-4334-8157 FAX: 03-4334-8158
E-Mail: jimukyoku@keikaku-kotsu.org
Homepage: <http://www.keikaku-kotsu.org/>